



2020年11月11日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社  
代表取締役社長 CEO 安川 健司  
(コード: 4503、東証第一部)  
(URL <https://www.astellas.com/jp/>)  
決算期 3月  
問い合わせ先 コーポレート・アドボカシー&リレーション部長  
藤井 郁乃  
(Tel: 03-3244-3201)

## 完全子会社である

### アステラス ファーマ テックとアステラスグリーンサプライの 吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ

アステラス製薬株式会社(以下「当社」)は本日、下記の通り、当社の完全子会社であるアステラス ファーマ テック株式会社(以下「アステラス ファーマ テック」)とアステラスグリーンサプライ株式会社(以下「アステラスグリーンサプライ」)を吸収合併(以下「本合併」)することを決定しました。

なお、本合併は、当社の完全子会社を対象とする吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略しています。

#### 記

##### 1. 合併の目的

- (1) アステラス ファーマ テックは、当社の医療用医薬品や治験薬などの製造業務を行っています。今後、抗体医薬や細胞医療、遺伝子治療などの Focus Area アプローチに基づく新たなモダリティを活用した新薬の早期上市、安定供給を実現するためには、早い段階から生産や供給を考慮して研究・開発を進めることが不可欠です。今回の吸収合併によって、2つの組織の隔たりがなくなり、製品化までのプロセス開発が加速され、さらに生産技術の融合が期待できます。
- (2) アステラスグリーンサプライは、環境緑化や資源リサイクルなどの業務を行い、障がい者雇用を推進しています。吸収合併することによって、より効率的な運営を行い、引き続き障がい者雇用に関する社会的責任を果たしていきます。

## 2. 合併の要旨

### (1) 合併の日程

当社における合併決議日	:2020年11月11日
合併契約締結日	:2021年12月中(予定)
合併期日(効力発生日)	:2022年4月1日(予定)

なお、本合併は、当社においては会社法第796条第2項に規定する簡易合併に該当し、消滅会社においては同法第784条第1項に規定する略式合併に該当するため、いずれも吸収合併契約承認の株主総会を経ずに行います。

### (2) 合併の方式

当社を存続会社、アステラス ファーマ テックおよびアステラスグリーンサプライを消滅会社とする吸収合併です。

### (3) 合併に係る割当の内容

アステラス ファーマ テックおよびアステラスグリーンサプライは当社の完全子会社であるため、本合併による新株式の発行および金銭等の割当はありません。

### (4) 合併に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

## 3. 合併当事会社の概要(2020年9月30日現在)

	存続会社	消滅会社	消滅会社
(1)商号	アステラス製薬株式会社	アステラス ファーマ テック株式会社	アステラスグリーンサプライ株式会社
(2)所在地	東京都中央区日本橋本町 2-5-1	東京都中央区日本橋本町 2-5-1	東京都中央区日本橋本町 2-5-1
(3)代表者の 役職・氏名	代表取締役社長 CEO 安川健司	代表取締役社長 中手利臣	代表取締役社長 中島竜介
(4)事業内容	医薬品の製造・販売および 輸出入	医薬品・治験薬・原薬の製造	アステラスグループ事業所内の 環境緑化や資源リサイクルなど
(5)資本金	103,001 百万円	1 百万円	1 百万円
(6)設立年月日	2005 年 4 月 1 日	2011 年 4 月 1 日	2005 年 4 月 1 日

(7)発行済株式数	1,861,787,075 株	2,000 株	200 株
(8)決算期	3 月 31 日	3 月 31 日	3 月 31 日
(9)大株主及び 持ち株比率	日本マスタートラスト信託銀行株 式会社(信託口) 12.20%  株式会社日本カストディ銀行(信 託口) 6.25%  日本生命保険相互会社 3.46%  STATE STREET BANK AN D TRUST COMPANY 505 001 2.79%  株式会社日本カストディ銀行(信 託口7) 2.72%	アステラス製薬 100.00%	アステラス製薬 100.00%
(10)直前事業年度の財政状態及び経営成績			
決算期	2020 年 3 月期 (連結、国際会計基準)	2020 年 3 月期 (単体、日本基準)	2020 年 3 月期 (単体、日本基準)
純資産	1,289,168 百万円	80,722 百万円	100 百万円
総資産	2,315,169 百万円	92,275 百万円	129 百万円
1 株当たり 純資産	694.03 円	40,361,184.76 円	500,112.54 円
売上収益	1,300,843 百万円	38,519 百万円	261 百万円
営業利益	243,991 百万円	1,992 百万円	8 百万円
税引前利益	245,350 百万円	1,377 百万円	8 百万円
親会社の所有者 に帰属する当期 純利益	195,411 百万円	834 百万円	△21 百万円
1 株当たり当期 純利益	104.15 円	417,162.17 円	△107,272.85 円

#### 4. 合併後の状況

本合併後の当社の名称、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金、決算期日に変更はありません。

#### 5. 今後の見通し

本合併による通期(2021年3月期)連結業績予想への影響はありません。

以上

#### アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

#### 注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。